

編集後記

当機関誌「No-Dig Today」は7月に区切りとなる100号を発行しました。これも皆様方のご支援のおかげと感謝申し上げる次第です。

さて、101号からのリスタート、従来と変わることが二点あります。

一点目は、表紙の写真です。当面の間、海外のISTT加盟国の街並みを掲載することとします。最初はISTT本部の所在地ロンドンの街並みとしました。選定に当たっては、地下パイプラインの建設には非開削技術が活躍するであろうと想定される街並みとしたいと考えております。また、96号で表紙の写真・イラストを募集した読者応募の写真を目次に掲載しました。

二点目は、この編集後記です。10数年来、編集後記は石川和秀編集委員長に執筆いただいております。石川委員長の豊富な経験と知識、深い洞察が盛り込まれ、非開削技術の必要性、優位性を説き、その普及や進化を強く後押しする記述内容は、「コラム」といったほうが相応しく、多くの読者の共感を得たのではないのでしょうか。長きにわたるご執筆に改めて敬意を表します。本号より、編集委員が順番に担当することとしました。「あとがき」としての色を濃くしつつも、各委員の経験や個性が反映された変化に富んだ編集後記になることをご期待ください。

〈本誌編集委員 白川淳一〉

○機関誌編集委員会

□特別顧問

- ▶森田 弘昭
(一社)日本非開削技術協会会長

□委員長

- ▶石川 和秀
全国ヒューム管協会専務理事

□委員

- ▶植木 貴幸
(株)奥村組土木本部土木営業部課長
- ▶小川 仁
芦森工業株式会社機軸製品事業本部機軸製品営業総括部バルテム営業部マネージャー
- ▶栗田 昌寛
(公財)水道技術研究センター管路技術部長
- ▶白川 淳一
(株)協和エクシオ土木事業本部長
- ▶寺田 祐二
東京電力パワーグリッド株式会社流通土木グループ管路チームリーダー
- ▶人見 隆
中川ヒューム管工業株式会社常務執行役員技術営業部長

▶堀地 紀行

国土舘大学理工学部教授大学院建設工学専攻

▶森 治郎

アイレック技建(株)非開削推進事業本部営業部部長

▶山崎 義広

(株)三水コンサルタント代表取締役社長

▶脇田 智晴

(株)イセキ開発工機国際部課長代理

▶渡辺 充彦

積水化学工業株式会社環境・ライフラインカンパニー管路更生事業部部長

□委員

- ▶小川 仁
芦森工業株式会社機軸製品事業本部機軸製品営業総括部バルテム営業部マネージャー
- ▶寺田 祐二
東京電力パワーグリッド株式会社流通土木グループ管路チームリーダー
- ▶人見 隆
中川ヒューム管工業株式会社常務執行役員技術営業部長
- ▶松尾 敬太
(株)協和エクシオ土木事業本部土木営業部門担当部長
- ▶森 治郎
アイレック技建(株)非開削推進事業本部営業部部長
- ▶和内 雅弘
NTTインフラネット株式会社日本事業本部7-Handeザインセンターエンジニアリング担当課長
- ▶渡辺 充彦
積水化学工業株式会社環境・ライフラインカンパニー管路更生事業部部長

○機関誌編集企画小委員会

□特別顧問

- ▶石川 和秀
全国ヒューム管協会専務理事

□編集企画小委員長

- ▶黒岩 正信
日本メックス(株)第一法人営業部担当部長

○編集スタッフ

事務局長：小谷 和弘
編集：大屋 健・赤坂 誠・遠藤 知佳

No-Dig Today

No.101 2017 Oct. 平成29年10月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会

発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F
TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

発行人：森田弘昭

印刷所：株式会社 LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

○購読料(税込)

1冊 1,620円(本体1,500円)〒400円
1ヵ年(4冊)6,480円(本体6,000円)〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会にて選考の上掲載論文には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2017 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。